

平成27年度 「短期入所事業ゆうゆう」 事業報告

1、登録人数 施設メンバー 27名 (男性19名 女性 8名)
 施設外メンバー 4名 (男性 4名 女性 0名)

2、事業内容 在宅において保護者又は家族の急な用事やその他の理由により、障害者の介護が出来ない状況が生じ、短期間の入所を必要とする障害者に対し、入浴、排泄、又は食事等の介護や日常生活上の支援を提供し、障害者等及び家族の福祉の向上を図った。
宿泊体験の場としての機能も果たし、利用者の状況に応じて適切な技術をもって食事・整容・更衣・排泄等生活全般にわたる援助を行った。

- ① 入浴・排泄 必要に応じて介助や見守りを実施。
- ② 起床・入床 起床時間 (6:00~7:00)
 入床時間 (20:00~22:00) 本人の意思を尊重し援助した。
- ③ 脱衣 必要に応じて介助、確認します。
- ④ 整容 毎食後の歯磨き援助、介助、確認。洗面の援助、介助、見守り等、個性を尊重した適切な整容を援助した。
- ⑤ 食事 栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事を提供した。

3、月別利用者数

4月	20名	5月	19名	6月	20名
7月	20名	8月	20名	9月	21名
10月	21名	11月	22名	12月	21名
1月	21名	2月	23名	3月	22名

(*年間利用者数 延べ 250名 利用回数 500回)

(*利用回数は 1泊2日=2回 でカウント)

平成28年度 「短期入所事業」 事業報告 (案)

1、 方針

生活支援

利用者の人権を尊重し、障害を正しく受け止め、利用者の心身の状況や意向を踏まえ食事、排泄、入浴等の生活全般の支援を行なう。

健康管理

受け入れに際しては、利用者、家族から家庭における健康状態及び特性について十分な聴取を行う。身体に変化が生じた場合には速やかに家族に連絡を取る。

家族との連携

家族との連携を密にして、相互理解とより良い支援に努める。利用期間中の

健康状況を含めた生活状況について記録し、家族に報告する。

防災・安全対策

火災・地震の緊急時に対応できるように、職員の配備体制及び防災設備の点検整備に万全を期するとともに、法人が行う避難訓練に参加する。今後、地域の自主防災組織にも加入し、地域の皆様の協力も仰げるようにしていく。

苦情解決

利用者、家族、地域の皆さんからの要望や苦情については、関係者で対応し、適切な解決を図り、サービスの向上に努める。

研修の充実

職員の資質の向上を図るため、事業所内外の研修には計画的かつ積極的に参加していく。また職員が同じ目標を持って意欲的に業務に従事できるよう、定期的に職員研修の場を持ち、意欲の高揚を図る。

2、 重点

在宅等において介護者の疾病やその他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者に対し、入浴、排泄、又は食事等の介護や日常生活上の支援を提供し、障害者等及び家族の福祉の向上を図る。

3、 職員・利用者数（平成28年3月末日現在）

職員	管理者	1名	
	サービス管理責任者	1名	
	生活支援員	2名	
登録人数	施設メンバー	27名	（男性19名 女性 8名）
	施設外メンバー	4名	（男性 4名 女性 0名）

4、 事業内容

在宅において保護者又は家族の急な用事やその他の理由により、障害者の介護が出来ない状況が生じ、短期間の入所を必要とする障害者に対し、入浴、排泄、又は食事等の介護や日常生活上の支援を提供し、障害者等及び家族の福祉の向上を図った。

宿泊体験の場としての機能も果たし、利用者の状況に応じて適切な技術をもって食事・整容・更衣・排泄等生活全般にわたる援助を行った。

①入浴・排泄…必要に応じて介助や見守りを実施。

②起床・入床… 起床時間（6：00～7：00）

入床時間（20：00～22：00）本人の意思を尊重し援助した。

③脱衣… 必要に応じて介助、確認します。

④整容…毎食後の歯磨き援助、介助、確認。洗面の援助、介助、見守り等、個性を尊重した適切な整容を援助した。

⑤食事…栄養と利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ手作りの食事を提供した。